

歴史に憩う 橿原市博物館 館報 2

平成 27 年度



2016 (平成 28) 年 8 月

ごあいさつ

橿原市には、原始以来の先人の営みが大地に刻まれた、史跡新沢千塚古墳群、特別史跡藤原宮跡や、江戸時代の建造物が数多く建ち並び、当時の町並みを今に伝える重要伝統的建造物群保存地区今井町をはじめとする、優れた歴史遺産が随所に残されています。

本市では、このような貴重な文化財の保護と活用に取り組んでおり、このたび、新沢千塚古墳群公園整備事業の先駆けとして、「歴史に憩う橿原市博物館」を開館いたしました。

博物館の前身は、1976（昭和 51）年の新沢千塚古墳群の史跡指定が契機となり、財団法人大和歴史教育センターが建設され、1978（昭和 53）年に開館しました橿原市千塚資料館です。

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんですが、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学んでいただくことをモットーにしております。

また、来館者一人一人に合う展示資料の紹介と、本市の豊かな歴史遺産への訪問をサポートする、斬新なパーソナルガイドを全国で初めて設置しました。

これからは、魅力溢れる博物館の創造を目指してまいりますので、皆様の幾度とないご来館をお待ちしております。

2016（平成 28）年 8 月

歴史に憩う橿原市博物館

目 次

1. 施設の概要	1
2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称	4
(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過	4
(2) 橿原市千塚資料館から歴史に憩う橿原市博物館への改称	4
(3) 展示の方針	4
3. 展示	5
(1) 常設展示室	5
(2) 特別展示室	6
(3) ロビー展示	6
4. 特別展・企画展・ロビー展	7
5. 体験講座	15
6. 定期講座	16
7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習及び夏休み小・中学校生徒自主学習	17
8. ボランティアガイドスタッフによる解説	19
9. 観覧者	19
10. 所蔵資料の活用	20
11. 刊行物一覧	24
12. 出前講座等	25
13. 図書等の受贈	25
14. 利用案内	25
15. 条例・規則	27

凡例

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所は奈良文化財研究所と略記する。

1. 施設の概要

歴史に憩う橿原市博物館は、1978（昭和53）年12月3日に開館した橿原市千塚資料館を改修し、名称も「歴史に憩う橿原市博物館」に改め、2015（平成26）年4月1日にリニューアルオープンした博物館である。建物は鉄筋コンクリート造りの中3階2階建である。面積は1階629.53㎡、2階603.74㎡、中3階37.83㎡で、全体の延べ床面積は1,271.10㎡である。歴史に憩う橿原市博物館は、橿原市教育委員会生涯学習部歴史に憩う橿原市博物館の所管である。

歴史に憩う橿原市博物館の概要

名称	歴史に憩う橿原市博物館	
所在地	橿原市川西町858番地の1	
建物展示改修設計費	7,119,000円	
建物展示改修設計者	(株)榊谷設計	
建物改修工事費	285,440,190円	
建物改修施工者	(株)鍛冶田工務店・(株)平成建設特定建設工事共同体	
展示改修工事費	155,400,000円	
展示改修施工者	(株)乃村工藝社	
面積	1,271.10㎡	
	・展示室（2階）	
	常設展示室1（かしはらの夜明け）	28.23㎡
	常設展示室2（新沢千塚とその時代・藤原京の世界）	175.00㎡
	常設展示室3（京との訣別 - 新たな歩み - ）	44.10㎡
	特別展示室（特別展・企画展開催）	77.44㎡
	ガイダンスホール	28.28㎡
	エントランスホール（受付含）	70.12㎡
	廊下	51.58㎡
	スタッフルーム	13.83㎡
	図書閲覧コーナー	21.17㎡
	授乳室	6.94㎡
	機械室	15.34㎡
	その他	71.71㎡
	・収蔵庫・事務室等（1階）	
	特別収蔵庫	37.50㎡
	収蔵庫	70.40㎡
	体験スタジオ	37.50㎡

事務室	67.50 m ²
資料整理室1 (図面作成・資料管理等)	36.44 m ²
資料整理室2 (遺物整理)	61.13 m ²
会議室1	16.80 m ²
会議室2	17.16 m ²
ロビー	100.00 m ²
荷解場 (借用資料搬入出)	36.38 m ²
機械室	13.50 m ²
その他	135.22 m ²
・中3階	
その他	37.83 m ²



消火設備 ハロゲン化物消火 (特別展示室・特別収蔵庫)

映像 ガイダンスホール…60型モニター1台・19型タッチパネルモニター埋め込みタッチパネル2台 (「かしの魅力」信仰のかたち～陵墓・社寺・大和三山～、歴史の面影～遺跡と風景～ 各3分・「あなたへのおすすめガイド」)

常設展示室2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) …大型スクリーン (「新沢千塚とその時代」・「藤原京の世界」 各3分)

グラフィック 20枚…ガイダンスホール4枚、エントランスホール3枚、常設展示室1 (かしの

らの夜明け) 3 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 7 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 3 枚

壁面説明パネル 12 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 4 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代・藤原京の世界) 3 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 5 枚

台上説明パネル 55 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 9 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代) 13 枚・(藤原京の世界) 11 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 22 枚

台上クイズパネル 16 枚…常設展示室 1 (かしはらの夜明け) 4 枚、常設展示室 2 (新沢千塚とその時代) 4 枚・(藤原京の世界) 4 枚、常設展示室 3 (京との訣別 - 新たな歩み -) 4 枚

展示資料キャプション 31 枚

展示資料ナンバー表記物 258 個

常設展示室・特別展示室ケース・ステージ

展示室 (室名)	ケース等	数量	寸 法 (mm)		
			W	D	H
展示室 1 かしはらの夜明け	据付壁面 L 型ステージ	1	1200	9000	750
展示室 2 新沢千塚とその時代 藤原京の世界	据付壁面ステージ	1	1200	9000	750
	据付壁面半楕円型ステージ	1	1200	16760	750
	行灯ケース	3	600	600	2100
	薄型 5 面ガラスケース	6	350	800	2700
展示室 3 京との訣別	据付コ字型ステージ	1	900	14400	750
特別展示室	据付壁面ケース (エアタイト)	1	1400	6750	3000
	行灯ケース (エアタイト)	1	900	900	2100
	5 面ガラスケース (エアタイト)	3	1200	1800	2700
	平覗きケース (エアタイト)	2	900	1800	1050

2. リニューアルオープンに至る経緯と館の名称

(1) リニューアルオープンに至る経緯と経過

- 2011（平成23）年 7月26日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計着手
- 2012（平成24）年 2月29日 千塚資料館大規模改修工事基本・実施設計完了
- 2012（平成24）年 6月21日 千塚資料館大規模改修工事着工
- 2012（平成24）年 7月27日 千塚資料館展示改修業務着手
- 2012（平成24）年10月31日 千塚資料館展示ケース製作及び設置業務着手
- 2013（平成25）年 3月15日 千塚資料館大規模改修工事完了
- 2013（平成25）年12月26日 榎原市千塚資料館から歴史に憩う榎原市博物館に改称
- 2014（平成26）年 2月21日 千塚資料館展示改修業務・展示ケース製作及び設置業務完了
- 2014（平成26）年 3月29日 リニューアルオープン記念式典
- 2014（平成26）年 4月 1日 リニューアルオープン
- 2014（平成26）年 7月 2日 博物館法に規定する登録博物館原簿に登録（第15号）

(2) 榎原市千塚資料館から歴史に憩う榎原市博物館への改称

博物館は先の資料館と同様に、隣接する新沢千塚古墳群のサイトミュージアムとしての位置付けはもちろんのこと、本市を代表する縄文時代の終わり頃から江戸時代までの、二千数百年にわたる遺跡出土資料の展示を通し、本市の歴史の息吹を体感しながら楽しく学ぶことができる「地域に根ざした博物館」を理念に事業を着実に展開していくことを目指した。

そして、奈良県立榎原考古学研究所 菅谷文則所長から、“人と人のつながりの真ん中に歴史があり、歴史を体感できる博物館として、まさに市民のサロンとなるよう。”との想いを表す「歴史に憩う博物館」の館名をご提案いただき、「榎原市千塚資料館」から「歴史に憩う榎原市博物館」に改称した。

(3) 展示の方針

常設展示、特別展・企画展、ロビー展示を以下の方針を定め、おこなうこととする。

1. 榎原市の歴史文化を語るうえで新沢千塚古墳群と藤原宮跡を中心に造営されたわが国最初の都城藤原京がもっとも重要であることから、これら二つの歴史遺産を骨格に、この地に人が暮らし始めた縄文時代から江戸時代までの歩みを遺跡出土資料・グラフィック・パネル・映像を用いて紹介し、見学者に本市の豊かな歴史文化に親近性を抱いてもらう。
2. 展示資料は基本的に榎原市の所蔵品で構成し、一部を他機関から借用する。
3. 展示資料は実物資料を原則とする。ただし、本市の歴史文化を語るうえで不可欠な資料であって、他機関所蔵で借用が不可能である場合においては、復原模造品・レプリカとする。
4. 見学者が展示資料を間近に鑑賞することで、展示資料がもつ造形美や質感を感じることができるようにする。ただし、脆弱な展示資料に限って最小限度の小ケースを用いる。

5. 展示資料と同等の実物資料に直接触れるコーナーを設置することで、見学者が展示資料をより深く観察し、製作者の思いや当時の社会の息吹を体感できるようにする。
6. 特別展示室では、本市の歴史に関わる各地の重要な資料を展示する特別展や企画展をおこなう。
7. 常設展示とは別にロビー展示をおこなうことで、些細な歴史事象についても関心を抱いてもらえるようにする。
8. 展示の解説は、ボランティアガイドスタッフと協力しておこなう。

3. 展示

(1) 常設展示室

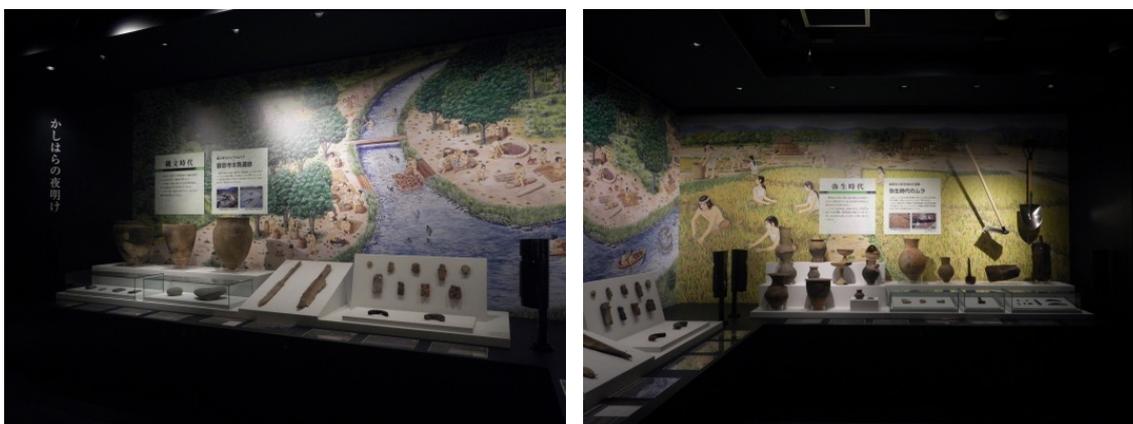
展示室の概要

常設展は橿原市が歩んできた歴史のなかで、本市はもとより日本の歴史を語るうえで最も重要な歴史遺産である新沢千塚古墳群、藤原京を中核に据えながら、本市に人々が集住しはじめた縄文時代晩期から江戸時代までの通史を紹介し、見学者に本市の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるものとしている。

展示室は3室で構成され、展示総面積は247.33㎡、展示資料の総点数は831点である。このうち実物資料382点（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館借用資料30点を含む）、復原模造品444点、レプリカ3点、模型1点、標本（菖蒲池古墳土層断面剥ぎ取り）1点である。

各展示室にはコーナータイトルを付け、見学者に展示意図を明快に伝わるようにしている。

常設展示室1 コーナータイトル「かしの夜の明け」と題し、本市に人が集住しはじめたことが明らかである縄文時代晩期から、稲作の開始によりこの地が豊かに発展する土壌を築いた弥生時代の歴史を紹介する。



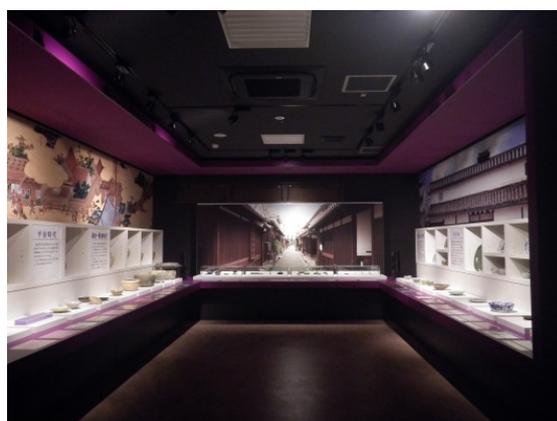
常設展示室2 最大の展示面積を有する室で、古墳時代と日本初の本格的な都城である藤原京を紹介する。古墳時代はコーナータイトル「新沢千塚とその時代」と題し、新沢千

塚 126 号墳復原模造品（現品は重要文化財で東京国立博物館所蔵）を中心に一部新沢千塚古墳群の実物資料（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館から借用）を含め朝鮮半島との交流を示す資料、古墳時代の終焉を示す植山古墳出土資料展示により古墳時代の歴史を紹介する。

日本初の本格的な都城である藤原京に焦点をあて、コーナータイトル「藤原京とその世界」と題し、現代に続く社会の規範を築き上げたことを紹介する。



常設展示室 3 コーナータイトル「京との訣別 - 新たな歩み - 」と題し、平城京遷都後、この地で織り成された奈良時代から江戸時代の歴史を紹介する。



(2) 特別展示室

本市が歩んできた歴史の一端を表す資料を素材に、各地で出土した関連資料の一体的な展示を通し、歴史における共通性や地域毎の独自性を分かりやすく紹介し、わが国の豊かな歴史・文化を身近に感じていただけるようにする。展示は、1年4回（特別展1回、企画展3回）開催する。

(3) ロビー展示

文化財課の協力により、本市がこれまでに実施した埋蔵文化財発掘調査の成果速報や出土資料のなかで特定資料に焦点をあてたロビー展示を整理室2（遺物整理）でおこない、見学者に本市の歴史の一コマを感じてもらえるようにする。

4. 特別展・企画展・ロビー展示

企画展4回、特別展1回、ロビー展示3回（平成26年度から継続分1回）を開催した。

(1) 春季企画展 「藤原京で暮らしてみると!?!」

〔内容〕 日本最初の都城である藤原京は、それまでの宮とは隔絶した規模や構造を持つ都であり、現代の日本につながる様々な法制度を整えるなど、日本の根幹を築いた京といえる。また、藤原京に住む人々は今でいう公務員が中心で、現在の都市型の消費生活を営んでいたと考えられている。

このような特殊性を持つ藤原京での暮らしについては、発掘調査成果をもとに、生活道具から衛生面まで、様々なことが明らかとなっている。

そこで、今回の展覧会では、「家を建てよう!」、「仕事をしよう!」、「遊ぼう!」、「ご飯を食べよう!」、「買い物に行こう!」、「困ったときは…」

の6つのテーマで、藤原京に暮らした人々の生活を知ると同時に、現代に住む私達の生活との共通点と相違点を明らかにし、藤原京への理解を深めるとともに古代を身近に感じていただけるものとした。

〔期間〕 2015（平成27）年4月18日（土）～6月7日（日）

〔観覧者〕 1,331人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数100点 ※展示資料後の（ ）内は資料の帰属機関

藤原宮・京跡…独楽、人物戯画（僧侶の姿・役人の顔）複製品、動物の骨（ウマ・ウシ・ニホンジカ）、斧、槍鉋、釘、刀子（複製品）、柱（奈良文化財研究所）

藤原京跡（左京一・二条四坊）…金属製人形、付札木簡（橿原市教育委員会、以下同）

（左京五条八坊）…須恵器円面硯

（右京三条三坊）…碁石

（右京五条四坊）…夾紵箱、金属製人形、海獣葡萄鏡、銅鈴、和同開珎、木製人形、絵画木簡、付札木簡、ちゅう木、漆塗り匙、

（右京六・七条四坊）…漆皿、木製匙

（右京九条四坊）…呪符木簡、八卦木簡

（右京十一・十二条三坊）…漆壺

（右京十二条四坊）…漆へら、漆がついた布

（右京十一条一坊）…和同開珎銀銭、土製仏像、ガラス小玉鋳型（奈良県立橿原考古学研究所）



石神遺跡…のこぎり（奈良文化財研究所）

復原品…貴族の食事、下級役人の食事、庶民の食事（橿原市教育委員会）

模型…藤原京土坑形トイレ模型（大田区立郷土博物館）

現代の製品等…パーソナルコンピューター、のこぎり、トイレトペーパー、書類、水洗トイレ、コンピューターゲーム、コマ、自由帳、カードゲーム

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時

開催日と講師及び講演名

2015（平成27）年5月16日（土）

木下正史氏（東京学芸大学名誉教授）「万葉時代の食生活」

2015（平成27）年5月30日（土）

山本 崇氏（奈良文化財研究所 主任研究員）「木簡からみた藤原京の暮らし」

2015（平成27）年6月6日（土）

竹田正則（当館 館長）「藤原京の住宅事情」

聴講者 132人

〔体験講座〕

「木簡ストラップをつくろう」

場所 当館

開催日 2015（平成27）年5月24日（日） 午前9時30分～午後0時

参加者 8人

〔関連イベント〕

「古代衣装を着よう」

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

参加者 72人（大人20人、子ども52人）

（2）夏季特別展「遮光器土偶がやってきた！」

〔内容〕 縄文時代には、様々な地域との交流が行われていたことが、発掘調査やその成果の研究により明らかとなっている。橿原市を代表する縄文時代の遺跡である橿原遺跡でも、東北地方をはじめ他地域の影響を受けた遺物が出土している。

そこで、特に「遮光器土偶」に代表される多彩な文化が展開されたことで有名な縄文時代晩期の東北地方と当市との関わりをテーマに展示を行い縄文文化の多様性の一端を紹介した。

〔期間〕 2015（平成27）年7月11日（土）～9月13日（日）

〔観覧者〕 1,735人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数 66 点 ※展示資料
後の () 内は資料の帰属機関

橿原遺跡…縄文土器、土偶、動物形土製品、土冠、土製
耳飾 (重要文化財：奈良県立橿原考古学研究所
所附属博物館)

観音寺本馬遺跡…土偶 (奈良県立橿原考古学研究所・御
所市教育委員会)

玉手遺跡…土偶 (御所市教育委員会)

曲川遺跡…土偶 (橿原市教育委員会)

亀ヶ岡遺跡…土偶、縄文土器 (明治大学博物館)

雨滝遺跡…土偶、岩偶、縄文土器、石器、岩板、耳栓、
玉 (明治大学博物館)



〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時

開催日と講師及び講演名

2015 (平成 27) 年 8 月 2 日 (日)

譽田亜紀子 氏 (土偶女子・ライター) 「土偶に出会って人生が変わった！」

2015 (平成 27) 年 8 月 30 日 (日)

岡田憲一 氏 (奈良県立橿原考古学研究所 主任研究員)

「西日本一土偶の多い町・かしはら - 土偶は何故、橿原遺跡に集合したか」

2015 (平成 27) 年 9 月 6 日 (日)

武藤康弘 氏 (奈良女子大学 教授) 「土偶に見る縄文人の身体装飾」

聴講者 212 人

〔体験講座〕

「藍の生葉染めで土偶Tシャツをつくろう」

場所 当館

開催日 2015 (平成 27) 年 8 月 1 日・同 29
日 (土) 午前 9 時 30 分～午後 0 時

参加者 45 人

〔関連イベント〕

「土偶しおりをつくろう」

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

参加者 505 人



土偶Tシャツをつくろう体験

(3) 秋季企画展「顔、カオ、かお～顔面表現の考古学～」

〔内容〕 縄文時代より、人は様々なものの絵を描き、あるいは造ってきた。それらの品々の一部は今も考古資料や民俗資料、美術品として現代に引き継がれている。これらの絵の中で最も身近なモチーフの一つは人間といえる。人間をモチーフとした考古資料は、本市の遺跡から出土した資料だけでも土偶や人形、人面墨書土器や磁器など、様々なものがある。

そこで今回は特に人間の顔に注目し、本市所蔵資料を含めた奈良県内遺跡出土資料を中心に、どのように顔の表現が変化したのかを時代を追って探った。そして歴史を築いてきた先人の姿を身近に感じただけと同時に絵画表現をテーマに、展示を通して考古資料の持つ絵画表現も楽しんでもらうこととした。

〔期間〕 2015（平成27）年10月10日（土）～11月29日（日）

〔観覧者〕 978人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数60点 ※展示資料後の（ ）内は資料の所属機関

1. 縄文時代

鳴神貝塚…復顔資料（和歌山市教育委員会）

曲川遺跡…土偶（橿原市教育委員会）

2. 弥生時代

坪井遺跡…人物会画土器（橿原市指定文化財・橿原市教育委員会）

川西根成柿遺跡…土製品（大和高田市教育委員会）

長寺遺跡…人骨（頭蓋骨）、復顔模型（天理市教育委員会）

唐古・鍵遺跡…復顔模型、頭蓋骨（複製）、人物絵画土器、人形土製品（田原本町教育委員会）

清水風遺跡…人物絵画土器（複製品を含む・田原本町教育委員会）

3. 古墳時代

打下古墳…復顔模型（高島市教育委員会）

大福遺跡…仮面状木製品（桜井市教育委員会）

茅原大墓古墳…盾持人埴輪（桜井市教育委員会）

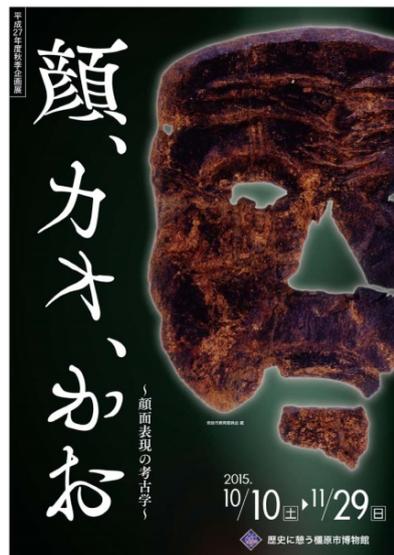
4. 古代

高松塚古墳…女子群像（写真・明日香村教育委員会）

藤原京跡…木簡（人物絵画複製品）、人形（橿原市教育委員会）

明日香村…猿石（奈良文化財研究所）

平城京跡…人面墨書土器、人面付硯脚（奈良市教育委員会）



5. 中世

新堂遺跡…木製人形（橿原市教育委員会）

菅原東遺跡…能面（奈良市教育委員会）

平城京跡…人形（奈良市教育委員会）

藤原京南西地区…人物墨書皿（奈良文化財研究所）

6. 近世

今井寺内町…磁器、人形（橿原市教育委員会）

奈良町遺跡…土人形（奈良市教育委員会）

7. 現代

今井寺内町…人形（橿原市教育委員会）

個人コレクション…漫画・人形

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時

開催日と講師及び講演名

2015（平成27）年11月1日（日）

片山一道氏（京都大学 名誉教授）「古代人の人物像を復原する」

2015（平成27）年11月21日（土）

森川 実氏（奈良文化財研究所 主任研究員）「古代人の顔と祈り」

聴講者 54人

〔関連イベント〕

「プラ板で人面墨書根付をつくろう」

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

参加者 32人

「昔なつかし福笑い挑戦」

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

（4）企画展「ロマンとピア藤原京'95 こだいちゃんタイムカプセル開封記念 『20年の時を越えて、未来へつなぐ』」

〔内容〕 藤原京創都1300年を記念して1995（平成7）年3月から5月にかけて開催された「ロマンとピア藤原京'95」において“家族から子ども達へ”、“将来の自分へ”など20年後への想いを込めた130件のメッセージや記念祭の資料などが「こだいちゃんタイムカプセル」に収められていた。

この度、20年の時を万葉ホール1階ロビーにおいて静かに重ねていたタイムカプセルが、

持統天皇が藤原京へ遷都した月日に合わせて2015（平成27）年12月6日に開封されることを記念し、市民をはじめ多くの方に藤原京への理解を深めていただくとともに、直近の出来事を振り返ることにより、現在の生活と過去の歴史事象が繋がっていることへの気づく機会とした。

〔期間〕 2015（平成27）年12月8日（火）～12月26日（土）

〔観覧者〕 91人

〔展示資料〕 展示資料総点数 123点

書籍、広報宣伝資料、記念品、協賛品、写真、新聞、市役所関連資料等



(5) 冬季企画展「カネ・人・ころ」

〔内容〕 日本では飛鳥時代に初めて銭が鑄造されて以降、人々の生活の中で不可欠な存在となった。本展覧会では、出土遺物や伝世した貨幣とともにお金とそれを使う人間や社会を様々な視点からお金の文化や変遷について紹介した。

〔期間〕 2016（平成28）年1月16日（土）～2月28日（日）

〔観覧者〕 759人

〔展示遺跡と展示資料〕 展示資料総点数 110点 ※展示資料後の（）内は資料の帰属機関

1. 古代

細工谷遺跡…枝銭（大阪市指定文化財・大阪市教育委員会）

飛鳥池遺跡…富本銭・同鑄棹（複製品、奈良文化財研究所、以下同）

藤原宮跡…鎮壇具（須恵器平瓶、富本銭、水晶原石）

坂田寺跡…鎮壇具（灰釉小型双耳瓶、灰釉小型双耳瓶蓋、瑞雲双鸞八花鏡、金銅製挟子、鉄製刀子、心葉形水晶玉、琥珀大玉、瑠璃玉、和同開珎、萬年通寶、神功開寶）

平城京跡…神功開寶・同鑄棹、埴塼、鞆羽口（奈良市指定文化財）、胞衣壺（蓋・身 和同開珎付）、無文銀銭、和同開珎鑄放し銭、さし銭（奈良市教育委員会）

出土地不明…和同開珎銭範（造幣博物館）

2. 中世

菅原東遺跡…承和昌宝、相通元宝、大観通宝（奈良市教育委員会、以下同）

西木辻町所在遺跡…饒益神宝

水間遺跡…寛平大宝



大安寺旧境内…延喜通宝

椿井・東城戸遺跡…乾元通宝

法華寺町所在遺跡…淳化元宝

興福寺旧境内…咸平元宝

中世奈良町…天聖元宝、治平元宝、元豊元宝、紹聖元宝、祥符元宝、皇宋通宝、元祐通宝、
政和通宝、洪武通宝、永楽通宝、蛭藻金

その他…長年大宝、洪武通宝、永楽通宝銀銭（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館）

3. 近世

その他…慶長笹書大判金、慶長小判金、（造幣博物館・長浜城歴史博物館）、正徳小判（長浜
城歴史博物館）、慶長丁銀、慶長通宝、寛永通宝（銅・銀・鉄銭）、元禄豆板銀（両
面大黒）、享保丁銀、元文一分判金、元文丁銀、文政一分判金、文政丁銀、天保一
分判金、天保丁銀、天保通宝、琉球通宝、安政二分判金、安政丁銀、万延二分判金、
開珎手綱駒銀銭、絵銭（開珎左駒、大耳大福・大福二神、大黒題目、車念仏）、藩
札等（郡山藩銭五百文大和国、香久山村銀一匁大和国十市郡、曾我銀一匁大和国）
（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館）

4. 近代～現代

個人コレクション…昭和・平成の貨幣、記念硬貨、プリペイドカード、商品券

〔講演会〕

場所 クリーンセンターかしはら 3階研修室

時間 午後1時30分～午後3時

開催日と講師及び講演名

2016（平成28）年1月23日（土）

塩川幸男氏（造幣博物館 元館長）「大判小判とお金の四方山話」

2016（平成28）年1月30日（土）

廣瀬 覚氏（奈良文化財研究所 主任研究員）「藤原宮の造営と南門出土の地鎮具」

聴講者 85人

〔関連イベント〕

ウォークイベント「貨幣誕生の地・飛鳥藤原をめぐる」

コース…近鉄吉野線岡寺駅（出発）→伝飛鳥板蓋宮跡→飛鳥池工房遺跡→奈良文化財研究所
都城発掘調査部藤原宮跡資料室→特別史跡藤原宮跡→橿原市藤原京資料室（解散）
約10km

開催日 2016（平成28）年2月11日（木）

参加者 29人

ワークショップ「千両箱を持ち上げる！！」（造幣博物館）

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

ハンズオン「カナモノづくりの道具たち」

場所 当館

開催日 企画展開催期間中随時

(6) ロビー展1 「東池尻・池ノ内遺跡、大藤原京左京五条八坊発掘調査成果展」

〔内容〕 文化財課の協力により磐余池跡と考えられる東池尻・池ノ内遺跡の発掘調査成果展をおこなった。

〔期間〕 2015（平成27）年3月17日（火）～5月10日（金）

〔展示資料〕 展示資料総点数20点（土師器・須恵器）

〔観覧者〕 253人（2015（平成27）年4月1日～5月10日分）

(7) ロビー展2 「新沢千塚166号墳～埴輪と土器に彩られた古墳～」

〔内容〕 1985（昭和60）年度に当市教育委員会が、新沢千塚古墳群では非常に希少な墳丘の全面調査を実施した166号墳の出土品を通じて、博物館の周囲に存在する古墳の築造当時の姿を紹介した。

〔期間〕 2015（平成27）年5月19日（火）～9月30日（水）

〔展示資料〕 展示資料総点数15点（埴輪、土師器、須恵器）

〔観覧者〕 489人

歴史に戀う種原市博物館 発掘調査速報ロビー展
- 磐余池推定地 -
東池尻・池之内遺跡の発掘調査
平成27年3月17日（火）～5月10日（日）
博物館 1階ロビー



東池尻・池之内遺跡は、6世紀後半に築かれた巨大な池の跡であることが近年の発掘調査によって明らかになった遺跡です。また、「日本書紀」や「万葉集」にたびたび登場し古代史の舞台となった磐余池・東池尻・池之内遺跡は、その磐余池の縁地ともなっています。

平成27年2～3月に実施した最新の発掘調査成果と合わせ、これまでの調査成果をまとめた速報展示を行います。別公開の出土品も多数展示します！
この機会にぜひ博物館を見をお運びください。

【展示品】
埴・池出土 須恵器・土師器・埴輪ほか
※1階ロビー一画は無料です。
※2階展示室は、別途観覧料が必要です。
※月曜日は休館です。祝日の場合、翌平日に休館。



【お問い合わせ】
歴史に戀う種原市博物館
電話 0744-27-9681

歴史に戀う種原市博物館 ロビー展
にいざわ せんづか
新沢千塚166号墳
～埴輪と土器に彩られた古墳～
平成27年5月19日（火）～9月30日（水）
博物館 1階ロビー

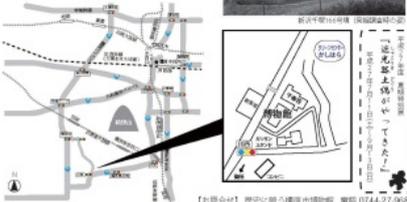


新沢千塚166号墳は、史跡新沢千塚古墳群を構成する古墳のひとつです。歴史に戀う種原市博物館から北東に約100mの地点に位置します。

1985年度に種原市教育委員会が実施した166号墳の発掘調査では、墳丘から多数の埴輪や土器が出土しました。墳丘のはげ全面の発掘調査をした例は新沢千塚では稀です。

埴輪を彩っていた埴輪や土器を通じて、古墳が築かれた当時の姿を感じてみませんか？
この機会にぜひ、博物館を見をお運びください。

【展示品】
新沢千塚166号墳出土 須恵器・土師器・埴輪
※1階ロビー一画は無料です。
※月曜日は休館です。祝日の場合、翌平日に休館。



【お問い合わせ】
歴史に戀う種原市博物館 電話 0744-27-9681

(8) ロビー展3 「地中から掘り出された動物たち」

〔内容〕 発掘調査で発見される遺物の中には、動物の姿を象った器物や、生活に利用した動物の骨などの資料が存在する。遺跡から出土した動物考古資料を通じて、人間がどのように動物を見、関わりをもってきたかに迫った。

〔期間〕 2015（平成27）年10月10日（土）～2016（平成28）年3月25日（金）

〔展示資料〕 展示資料総点数22点（鶏・獣形埴輪、土馬、骨（鹿・ムササビ）鹿角、動物画磁器）

〔観覧者〕 662人



5. 体験講座

橿原市観光交流センターへの体験型展示出展をはじめ、昆虫館と連携した「稲刈り体験」、「色を育てる・染める・使う」をコンセプトに染色体験講座を1回、新たにどきどき体験ツアーとして土器復原講座を1回開催した。

(1) 『ナビプラザDE夏休み!!～おさかなと虫と科学と歴史であそぼう～』

〔内容〕 歴史クイズ、古代の食卓の様子、粘土で縄文体験

〔場所〕 橿原市観光交流センター2階イベントスペース

〔開催日〕 2015年7月16日(木)～8月16日(日)

(2) 田んぼの生き物観察会「稲刈り体験をしよう」

〔内容〕 稲刈りや古代米ムカゴの飯盒炊飯

〔場所〕 昆虫館周辺の水田

〔開催日〕 2015(平成27)年10月25日(日)

〔参加者〕 30人

(3) 「色を育てる・染める・使う～団栗染め～」

〔場所〕 当館

〔開催日〕 2015(平成27)年11月3日(火)

〔参加者〕 14人



(4) 「どきどき体験ツアー(土器を復原する)」

〔場所〕 当館

〔開催日〕 2015(平成27)年10月8日(木)

〔参加者〕 2人

6. 定期講座

「弥生時代の実像」をテーマに4回の講座を開催した。

〔内容〕 日本の食文化の根本である水稲の栽培が始まった弥生時代を様々な側面から検討し、弥生時代がどのような時代であったかを学んだ。

〔場所〕 クリーンセンターかしはら 3階研修室

〔時間〕 午後1時30分～午後3時

〔開催日と講師及び講演名〕

第1回 2015（平成27）年9月12日（土）

藤田三郎氏（田原本町教育委員会文化財保存課 課長）「弥生時代の集落論」

第2回 2015（平成27）年10月18日（日）

杉山真由美（橿原市教育委員会文化財課 技師）「弥生時代の生業」

第3回 2016（平成28）年2月7日（日）

橋本裕行氏（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 学芸課長）「弥生時代の絵画」

第4回 2016（平成28）年2月27日（土）

川上洋一氏（奈良県教育委員会文化財保存課 調整員）「弥生時代の境界」

〔聴講者〕 133人



「弥生時代の集落論」講演会



「弥生時代の生業」講演会



「弥生時代の絵画」講演会



「弥生時代の境界」講演会

7. 学校等校外学習、視察・研修、職場体験学習及び夏休み小・中学校生徒自主学習

学校等校外学習及び各種団体の視察・研修、市内中学校2年生を対象に実施される職場体験を受け入れた。また、夏休み期間中に小・中学校生徒向け自主学習の場として会議室2を開放した。内訳は以下の通りである

(1) 学校等校外学習

4月22日(水) 畝傍東小学校(122人)、5月14日(木) 奈良県立橿原高校(125人)、5月15日(木) 奈良県立橿原高校(84人)、6月10日(水) 白橿北小学校(35人)、10月14日(水) 大和高田市立菅原小学校(94人)、2月18日(木) 畝傍南小学校(61人)



畝傍東小学校 校外学習



白橿北小学校 校外学習



畝傍南小学校 校外学習



奈良県立橿原高校 校外学習

(2) 視察

5月20日(水) 宮城県岩沼市議会(5人)、9月1日(火) 洛陽市訪問団(8人)、12月8日(火) 洛陽市訪問団(6人)、12月13日(日) 釜山大学(14人)、2月9日(火) 神奈川県綾瀬市議会(4人)

(3) 研修

8月5日(水) 橿原市小学校社会科教育研究会(12人)、11月25日(水) 橿原市観光ボランティアガイド(10人)、ユネスコ・アジア文化センター(8人)、2月16日大韓民国百済学会(19人)、

(4) 職場体験学習

11月5日(木)～11月6日(金) 八木中学校(3人)、11月12日(木)～11月13日(金)
光陽中学校(3人)、1月26日(火)～1月27日(水) 白檀中学校(1人)

(5) 夏休み自主学習

会議室開放期間 7月18日(土)～8月31日(月) 利用者90人

8. ボランティアガイドスタッフによる解説

ボランティアガイドスタッフを募集し19人の登録があった。ガイドスタッフは休館日を除き、スケジュール調整を行い、各自活動可能な日に展示解説(常設展示、特別展、企画展)をおこなうと共に、校外学習や体験講座の支援を通して博物館の運営支援に携わっていただいた。ガイドスタッフの活動実績は以下の通りである。

	開館日数	ガイド人数	観覧者
4月	26日	117人	389人
5月	27日	104人	971人
6月	25日	105人	211人
7月	27日	92人	488人
8月	26日	98人	888人
9月	26日	100人	528人
10月	27日	94人	444人
11月	25日	90人	559人
12月	24日	90人	229人
1月	24日	102人	248人
2月	24日	97人	550人
3月	27日	83人	185人
合計	308日	1,172人	5,690人

9. 観覧者

観覧者数(常設展示・特別展・企画展)は5,690人、内訳は以下の通りである。

	開館 日数	有料観覧者			無料観覧者				合計
		大人	学生	小人	大人	学生	小人	幼児	
4月	26	205	4	11	43	0	124	2	389
5月	27	446	16	24	219	239	17	10	971
6月	25	133	2	0	27	0	43	6	211
7月	27	384	11	43	29	3	2	16	488
8月	26	640	37	59	92	4	33	23	888
9月	26	455	10	12	39	0	6	6	528
10月	27	388	4	11	30	0	5	6	444
11月	25	272	13	10	231	1	22	10	559
12月	24	60	10	0	156	0	2	1	229
1月	24	207	6	11	18	0	5	1	248
2月	24	330	8	8	135	0	61	8	550
3月	27	125	5	3	48	0	3	1	185
合計	308	3,645	126	192	1,067	247	323	90	5,690

10. 所蔵資料の活用

以下の資料を下記の機関に貸し出し、公開利用に寄与した。

(1) 資料の貸出

No.	貸出先・期間	遺跡	資料名	点数	活用方法
1	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 [期間] 2015(平成27)年4月1日～ 2016(平成28)年3月31日	四条遺跡	銅滓付須恵器3、フイゴ羽口27、鉄滓一括、ガラス滓2	33	常設展示 [展示期間] 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日
		藤原京跡(右京五条四坊)	土馬8、てづくね土器8	16	
2	橿原市世界遺産推進課 [期間] 2015(平成27)年4月1日～ 2016(平成28)年3月31日	藤原京跡(右京三条三坊)	須恵器(坏2、平瓶1) 土師器(坏4、皿2)	9	橿原市藤原京資料室常設展示 [展示期間] 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日
3	(医法)南風会 [期間] 2015(平成27)年4月1日～ 2016(平成28)年3月31日	五井遺跡	土師器(坏1、高坏1、甕1、直口壺1、広口壺1、小型丸底壺1、小型丸底鉢1)	7	病院1階ロビーにて展示 [展示期間] 2015(平成27)年4月1日～2016(平成28)年3月31日

4	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 [期間] 2015（平成27）年6月30日～9月18日	東池尻・池之内遺跡、今井寺内町	東池尻・池之内遺跡 土師器（壺1）、須恵器（坏6、高坏3、ハツ1、甕1、小壺1、瓶1）、砥石2、鞆羽口1 今井寺内町 磁器（碗3、皿1、仏飯具1、破片1）、陶器（皿1、壺1、鍋1、急須1）、土人形5、鉄砲玉2、銭貨1、鹿角1、櫛1、蜂蜜瓶1、ガラス製薬瓶2、プラスチック製品4	44	速報展「大和を掘る33」 [展示期間] 2015（平成27）年7月18日～平成27年9月6日
5	大阪府立近つ飛鳥博物館 [期間] 2015（平成27）年6月30日～9月18日	新沢千塚126号墳	復元模造品 金製垂飾付耳飾1、金製螺旋状垂飾1、金製指輪1、金製螺旋状指輪1、銀製螺旋状指輪1	5	平成27年度秋季特別展「ワカタケル大王の時代ーヤマト王権の成熟と確信ー」 [展示期間] 2015（平成27）年10月3日～11月29日
6	斑鳩町教育委員会 [期間] 2015（平成27）年10月20日～12月11日	植山古墳	步揺付飾金具3、鉄地金銅張鉸具1、三輪玉2	6	平成27年度秋季特別展「藤ノ木古墳と大和の横穴式石室ー出土品との比較から見えるものー」 [展示期間] 2015（平成27）年10月29日～11月29日
7	奈良文化財研究所飛鳥資料館 [期間] 2015（平成27）年12月3日～2016（平成28）3月16日	植山古墳、菖蒲池古墳、東池尻・池之内遺跡	植山古墳 步揺付飾金具9、鉸具1、鉄鏃3、石突1、鞍金具1、縁金具2、鉈尾2、須恵器3 菖蒲池古墳 須恵器3、磚5、鉄滓3 東池尻・池之内遺跡 土師器2、須恵器5	40	平成27年度冬期企画展「飛鳥の考古学 2015ー飛鳥の古墳調査最前線ー」 [展示期間] 2016（平成28）年1月29日～3月6日

(2) 資料の掲載

No.	貸出先	資料名（写真デジタルデータ等）	点数	掲載書籍等
1	橿原市世界遺産推進課	西十坊大路と四条大路の交差点、中ツ道（東四坊大路）、北六条大路、藤原京中軸道路、大極殿西の調査	5	橿原市藤原京資料室常設展示パネル
2	(医法)南風会	五井遺跡（空中写真、竪穴住居出土状況、槽出土状況）、藤原京遺跡分布図	6	病院1階ロビーにて展示

3	(株)宝島社	観音寺本馬遺跡の栗林根株群	1	『別冊宝島 素晴らしい日本文化の起源 岡村道雄が案内する縄文の世界』
4	朝日新聞大阪本社橿原支局	菖蒲池古墳石室残存状況、石敷の玉石敷、基底石掘方と基底石の据え付け、須恵器壺内面（漆容器）	4	2015年4月17日付朝日新聞大阪本社発行版奈良版
5	東京書籍(株)	藤原京復原模型	1	東京書籍発行『新編新しい社会』
6	(株)悠工房	藤原京復原模型	1	『社会テスト6年生』
7	(株)淡交社	丸山古墳	1	『奈良古墳ロマン』
8	橿原市観光政策課	丸山古墳	1	歴史街道地域連携リレー現地講座資料
9	橿原市観光政策課	常設展示風景 藤原京の世界	1	近畿日本ツーリストホームページ
10	(株)G. B.	丸山古墳	1	デアゴスティーニ・ジャパン『日本の神社』第78号
11	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	東池尻・池之内遺跡、今井寺内町出土品及び写真・図	57	速報展『大和を掘る33』
12	(株)ライブアド	常設展示風景、展示図録表紙、ロゴマーク	6	自社ホームページ
13	アートフォト右文	新沢千塚 126号墳出土遺物、藤原京跡発掘調査現場	2	帝塚山大学主催市民講座講演資料
14	(株)ユニフォトプレスインターナショナル	藤原京復原模型	1	(株)新学社『社会の自主学习/歴史』
15	大阪府立近つ飛鳥博物館	新沢千塚古墳群	1	平成27年度秋季特別展『ワカケル大王の時代ーヤマト王権の成熟と革新ー』
16	(株)アフロ	藤原京復原模型	1	日本文教出版『新ワーク 歴史I』
17	テレコムスタッフ(株)	藤原京復原模型	1	BS フジ テレビ番組『発掘！歴史に秘めた恋物語』
18	長野県立歴史館	観音寺本馬遺跡IV区南西部埋没樹出土状況	1	平成27年度秋季企画展『樹木と人の交渉史』
19	朝日新聞東京本社	藤原京右京九条四坊 弧状溝形水洗式トイレ、土坑形汲取式トイレ	2	『GLOBE』トイレ特集
20	(株)日本入試センター	藤原京復原模型	1	『進学教室サピックス小学部』社会学力テスト問題
21	新潟市文化財センター	藤原京復原模型、基石	2	史跡古津八幡山遺跡特別企画展『絵で見る考古学 早川和子原画展』
22	(株)グレイル	植山古墳（航空写真）、植山古墳西石室、藤原京復原模型	3	辰巳出版『天皇陵と消えた都の謎』
23	日本銀行金融研究所貨幣博物館	藤原京復原模型	1	リニューアル展示資料
24	奈良文化財研究所飛鳥資料館	占いの木簡（藤原京右京九条四坊）	2	平成27年度秋期特別展開館40周年『キトラ古墳と天の科学』
25	(株)アーテファクトリー	藤原京復原模型	1	(株)学宝社『学習整理 歴史1』
26	明治図書出版(株)	藤原京復原模型	1	『よくわかる社会の学習 歴史1』
27	奈良テレビ放送	藤原京右京九条四坊 土坑汲み取り式トイレ、弧状形水洗式トイレ	2	自社のニュース企画

28	斑鳩町教育委員会	植山古墳（航空写真）、植山古墳東石室、植山古墳東石室出土歩揺付飾金具、植山古墳東石室平面・立面図	4	平成 27 年度秋季特別展『藤ノ木古墳と大和の横穴式石室—出土品との比較から見えるもの—』
29	(株)ゆまに書房	藤原京復原模型	1	『ビジュアル 日本のお金の歴史』
30	(株)吉川弘文館	石川廃寺石組暗渠、植山古墳全景、大窪寺塔心礎と国源寺、久米寺跡塔心礎礎石群、五条野内垣内遺跡発掘状況、五条野向イ遺跡発掘状況、五条野丸山古墳、小谷古墳石室・石棺全景、下ツ道西四坊大路遺構、菖蒲池古墳墳丘南隅発掘状況、菖蒲池古墳石室・石棺の現状、田中廃寺遠景、鳥屋見三才古墳（身狭桃花鳥坂上陵）、中ツ道東四坊大路遺構、沼山古墳石室、磐余池跡推定値と堤上の建物群、藤原京復原模型、藤原宮復元模型	17	木下正史編『飛鳥史跡辞典』
31	(株)吉川弘文館	観音寺本馬遺跡クリ埋没林跡	1	小畑弘己著『タネをまく縄文人』
32	(株)エヌ・アンド・エイ企画	新堂遺跡出土簪	1	阿部絢子監修『きみもなれる！家事の達人』
33	橿原市観光ボランティアガイドの会	新沢千塚 126 号墳副葬品（レプリカ）、倭彦命墓、益田の岩船	3	大阪・奈良歴史街道リレーウォーク橿原編『帰ってきたペルシヤの貴婦人との出会い』
34	(株)山川出版社	藤原京復原模型	1	『大学の日本史 1 古代』
35	(株)知楽	藤原京復原模型	1	ベストセラーズ『一個人』
36	(株)童夢	藤原京復原模型	1	光村教育図書(株)『光村の国語ワーク 3 年』
37	藤井寺市教育委員会	丸山古墳	1	『仲哀天皇陵古墳』藤井寺市文化財報告第 36 集
38	橿原市世界遺産推進課	藤原京復原模型	1	発行誌『ぱーぷる 1 月号』
39	奈良文化財研究所飛鳥資料館	植山古墳出土歩揺付飾金具 9、鉸具 1、三輪玉 2		平成 27 年度冬期企画展『飛鳥の考古学 2015—飛鳥の古墳調査最前線—』
40	(株)アフロ	藤原京復原模型	1	(株)育仲社『i ワーク歴史 I』
41	観光政策課	常設展示室風景	1	橿原プレミアム宿泊プラン広報チラシ・かしはらお散歩クーポン
42	岡村印刷(株)奈良営業部	植山古墳、丸山古墳	3	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会『飛鳥物語読本』
43	奈良文化財研究所飛鳥資料館	植山古墳、菖蒲池古墳、東池尻・池之内遺跡	9	平成 27 年度冬期企画展『飛鳥の考古学 2015—飛鳥の古墳調査最前線—』
44	(株)はる制作室	菖蒲池古墳石室、丸山古墳	2	(株)宝島社『別冊宝島 古代史再検証 蘇我氏とは何か』
45	明治図書出版(株)	藤原京復原模型	1	『よくわかる社会の学習 歴史 1』、『積み上げ 歴史 1』
46	(株)集英社	藤原京復原模型	1	『学習まんが 日本の歴史』第 2 巻
47	(株)はる制作室	藤原京復原模型	1	(株)宝島社『別冊宝島 奈良 1300 年地図帳』

48	奈良県総務部知事公室広報広聴課	藤原京復原模型	1	『県民だより奈良3月号』
49	明治図書出版(株)	藤原京復原模型	1	『よくわかる国語の学習 3年生』
50	世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会	菖蒲池古墳 古墳墳丘と掘立柱建物(090SB)の位置関係、石室実測図、復原した墓域と現地地形、石室内の家型石棺、墳丘西南隅の残存状況、石敷(0904SX)完掘状況	6	東京講演会・奈良講演会 『世界に伝えたい「飛鳥・藤原」の魅力記念講演会資料』
51	(株)碧水社	藤原京復原模型	1	(株)東西社『日本の城・城合戦』
52	教育出版(株)	藤原京復原模型	1	平成28年度版中学社会デジタル教科書『歴史 未来をひらく』
53	(株)自由社	藤原京復原模型	1	中学社会『新版 新しい歴史教科書』
54	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 坂靖	新堂遺跡 陶質土器(坏、高坏) 南山古墳群 陶質土器、動物異形高坏	4	平成24～27年度科学研究費助成事業研究成果報告書『古墳時代の渡来系集団の出自と役割に関する考古学的研究』
55	橿原市総務課	常設展示室風景、丸山古墳	2	橿原市ホームページ『誇れる郷土・かしはら応援補助金(ふるさと納税)』
56	(株)ユニフォトプレスインターナショナル	藤原京復原模型	1	(株)エデュケーショナルネットワーク『中学受験新演習小5下』
57	(株)読売エージェンシー	藤原京復原模型	1	国土交通省関東地方整備局『関東の道路 歴史と役割』
58	(有)三猿舎	植山古墳	1	(株)宝島社『別冊宝島 古代史再検証 聖徳太子とは何か』
59	(株)テレコープ	横大路	1	日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会 日本遺産「飛鳥」観光PR映像『日本国創成のとき～飛鳥を翔(か)けた女性たち～』
60	(株)ランズ	丸山古墳	1	(株)ユーキャン『日本歴史大地図』
61	(株)東阪企画	新沢千塚126号墳出土金製指輪(復元模造品)	1	BS日テレ『ぶらぶら美術・博物館』
62	(株)フラジャイル	和銅開珎	1	テレビ東京「L4YOU！」

11. 刊行物一覧

- ・図録 第5冊 平成27年度春季企画展『藤原京で暮らしてみると!?!』(2015(平成27)年4月18日 200部)
- ・図録 第6冊 平成27年度夏季特別展『遮光器土偶がやってきた!』(2015(平成27)年7月11日 200部)
- ・図録 第7冊 平成27年度冬季企画展『カネ・人・こころ』(2016(平成28)年1月5日 200部)

- ・パンフレット 平成27年度秋季企画展『顔、カオ、かお～顔面表現の考古学～』（2016（平成27）年10月10日 1,000部）

12. 出前講座等

- ・2015（平成27）年11月23日 橿原市白橿町Cマンション自治会
濱口和弘 「橿原市の歴史」
- ・2015（平成27）年11月25日 ユネスコ・アジア文化センター 文化遺産保護協力事務所
（ネパール、モルジブ、スリランカの学芸員対象）
松井一晃 臨地研修「特色あるテーマ博物館の実例Ⅲ」

13. 図書等の受贈

関係機関以外に個人（2名）から365冊、考古資料6点の寄贈を受けました。

【受領図書】

分類	報告書	論考集	解説書	図録	資料集	辞典	写真集	全集
冊数	74	123	36	61	39	1	1	30

【考古資料】

縄文土器（浅鉢1・縄文時代後期、注口土器1・縄文時代晩期、破片1・縄文時代晩期）、土偶（仮面1・縄文時代後期）石器（搔器1・縄文時代晩期、石鏃13・縄文時代後・晩期）

14. 利用案内

所在地：〒634-0826

奈良県橿原市川西町858番地の1

TEL：0744-27-9681

FAX：0744-26-1114

URL：<http://www.city.kashihara.jp/hakubutsukan/>

開館時間：午前9時00分～午後5時00分（入館受付は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌平日。）及び12月27日～1月4日

観覧料：

	大人	学生 (高校・大学生)	小人 (小・中学生)
個人	300 円	200 円	100 円
団体 (30 人以上)	270 円	180 円	90 円
団体 (100 人以上)	210 円	140 円	70 円

交通：公共交通機関

近鉄：橿原神宮前駅下車（西出口） 徒歩 30 分

奈良交通バス：橿原神宮前駅西口のりば

「近鉄御所駅」、「古作・観音寺町」、「イオンモール橿原」行「川西」下車徒歩 2 分
車利用の場合

京奈和自動車道「橿原北 IC」から 7.2 km、「御所 IC」から 2.3 km

大和高田バイパス「新堂ランプ」から 2.8 km

15. 条例・規則

歴史に憩う橿原市博物館条例

平成 25 年 12 月 26 日

条例第 30 号

(設置)

第 1 条 橿原市は、郷土の歴史資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図ることにより、市民の郷土に対する理解と知識を深め、もって広く教育、学術及び文化の発展に資するため、歴史に憩う橿原市博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
歴史に憩う橿原市博物館	橿原市川西町 858 番地の 1

(管理)

第 3 条 博物館は、橿原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

(事業)

第 4 条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究に関すること。
- (3) 資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (4) 資料に関する講演会、研究会、講習会等の開催に関すること。
- (5) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等に関すること。
- (6) 他の博物館、学校、学会その他の関係機関との連絡及び協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(入館の制限)

第 5 条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者又は入館した者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を拒否し、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれがある者又はこれらのおそれがある物品を携帯する者
- (2) 動物類(身体障害者補助犬法(平成 14 年法律第 49 号)に規定する身体障害者補助犬及び教育委員会が特に必要と認める動物類を除く。)を携帯する者
- (3) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認める者
- (4) 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を滅失し、又は毀損するおそれがあると認められる者
- (5) 博物館の管理の業務に従事する者の指示に従わない者
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上支障があると認める者

(撮影等の許可)

第6条 博物館において資料の撮影、模写、模造等(以下「撮影等」という。)の行為をしようとする者(以下「申請者」という。)は、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 教育委員会は、資料の管理上支障があると認めるときは、前項の許可に条件を付することができる。
- 3 申請者は、撮影等の許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(観覧料)

第7条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者(以下「観覧者」という。)は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

- 2 市長は、観覧者が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の観覧料の全部又は一部を免除することができる。
 - (1) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けた者及びその介護を行う者
 - (2) その他市長が特別の理由があると認める者
- 3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(協議会)

第8条 博物館に歴史に憩う橿原市博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。
- 3 委員は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、関係行政機関の職員並びに地域の代表者の中から教育委員会がこれを任命する。
- 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 第1項から前項までに定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第8条及び附則第3条の規定は、規則で定める日から施行する。

(準備行為)

第2条 この条例の施行に際し必要な手続その他の準備行為については、この条例の施行前においても、行うことができる。

附 則(平成27年条例第5号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成27年条例第23号)抄

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

別表(第7条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体
大人	300円	左欄に掲げる額の10パーセントを減じた額とする。ただし、100人以上の団体の場合は、左欄に掲げる額の30パーセントを減じた額とし、これらの額に10円未満の端数がある場合については、その端数金額を切り捨てた額とする。
学生	200円	
小人	100円	

備考

- (1) 学生とは、高等学校、大学及びこれらに準ずる学校の生徒及び学生をいう。
- (2) 小人とは、小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の児童及び生徒をいう。
- (3) 団体とは、30人以上で責任者が引率している場合をいう。ただし、30人未満であっても県内の小学校、中学校、高等学校及びこれらに準ずる学校の児童又は生徒を当該学校の教育職員が引率している場合は、団体とみなす。

歴史に憩う橿原市博物館管理運営に関する規則

平成 25 年 12 月 27 日

教育委員会規則第 8 号

橿原市千塚資料館管理運営に関する規則(平成 22 年橿原市教育委員会規則第 10 号)の全部を改正する。

(趣旨)

第 1 条 この規則は、歴史に憩う橿原市博物館条例(平成 25 年橿原市条例第 30 号。以下「条例」という。)第 9 条の規定に基づき、歴史に憩う橿原市博物館(以下「博物館」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、橿原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認めるときは、博物館の開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる場合は、その日以後で最も近い休日でない日)

(2) 1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 27 日から同月 31 日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、博物館を臨時に開館し、又は休館することができる。

(遵守事項)

第 4 条 博物館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 所定の場所以外に博物館備付けの図書を持ち出さないこと。

(2) 所定の場所以外で飲食をしないこと。

(3) 館内で喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(4) 許可を受けずに物品の販売、展示その他営利行為をしないこと。

(5) 許可を受けずに印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示しないこと。

(6) その他管理上必要な係員の指示に従うこと。

(観覧料の徴収等)

第 5 条 条例第 7 条第 1 項の観覧料は、観覧券(様式第 1 号)の発行により徴収する。

2 教育委員会が特に必要と認めるときは、前項の観覧券に代えて別の様式を定め、これにより観覧料を徴収することができる。

(観覧料の減免)

第 6 条 条例第 7 条第 2 項第 1 号の規定に該当する者は、観覧料の 5 割に相当する額を免除するものとする。

2 条例第7条第2項第2号の規定に該当する者及びその免除の割合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市内に居住する又は市内の学校等に通学等をする条例別表備考第2号に規定する小人で土曜日に入館するもの 10割
- (2) 教育上の目的のために、園児、児童、生徒又は学生を引率して入館する学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校の教職員 10割
- (3) 教育上の目的のために、児童を引率して入館する児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業に従事する職員 10割
- (4) 教育上の目的のために、幼児又は児童を引率して入館する児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設の職員 10割
- (5) 公の目的で入館する国、地方公共団体その他公共団体又は公共的団体の職員 10割
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者 市長が別に定める割合(優待券等)

第7条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。(館外貸出し)

第8条 博物館が所蔵する条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)の館外貸出しを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した館外貸出許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 借用資料の名称
- (3) 借用目的
- (4) 借用期間

2 教育委員会は、前項の館外貸出許可申請書の提出を受けた場合において、当該申請者が次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該館外貸出しが博物館の業務に支障がないと認めるときは、必要な条件を付して前項の許可をすることができる。

- (1) 博物館法(昭和26年法律第285号)第10条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定による指定を受けた施設
- (2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

3 教育委員会は、第1項の許可をしたときは、館外貸出許可書(様式第2号)を当該申請者に交付するものとする。

4 第1項の許可の期間は、3月を超えることができない。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(館外貸出しの許可の取消し)

第9条 教育委員会は、前条第1項の許可を受けた者が虚偽の申請により許可を受けたとき、又は同条第2項の条件若しくは教育委員会の指示に従わないときは、その許可を取り消すことができる。

(資料の撮影等)

第10条 博物館が所蔵する資料の撮影等の行為をしようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等撮影許可申請書を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 撮影資料の名称
- (3) 撮影目的

2 教育委員会は、前項の許可をしたときは、資料等撮影許可書(様式第3号)を当該申請者に交付するものとする。

(寄贈)

第11条 博物館に資料を寄贈しようとする者は、次に掲げる事項を記載した資料等寄贈申請書を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、教育委員会がその申請を不要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 申請者(代表者)の住所及び氏名
- (2) 資料の名称及び点数

2 教育委員会は、前項の規定により寄贈を承認した資料の引渡しを受けたときは、資料受領書(様式第4号)を当該寄贈をした者に交付するものとする。

(損害の賠償)

第12条 博物館の施設又はその附属設備、備品、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第13条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

様式第1号（第5条関係）

観覧券

歴史に憩う橿原市博物館 観覧券 No.	歴史に憩う橿原市博物館 観覧券 No.
---------------------------	---------------------------

歴史に憩う橿原市博物館

観覧券

年 月 日

区 分	観覧人数	観覧料	金額
大 人	人	円	円
学 生	人	円	円
小 人	人	円	円
教職員等引率者	人		
観覧人数合計	人	観覧料合計	円

所在地

団体名

代表者

様

上記の観覧料合計金額を領収しました。

領収日付印

様式第2号 (第8条関係)

第 号

年 月 日

資料等館外貸出し許可書

様

檀原市教育委員会教育長 印

年 月 日付で申請のあった資料等館外貸出しについては、次のとおり許可する。

品目	点数	備考
貸出しの場所		
期間		
許可条件		

様式第3号（第10条関係）

第 号

年 月 日

資料等撮影許可書

様

檀原市教育委員会教育長 印

年 月 日付けで申請のあった資料撮影等については、次のとおり許可する。

利用目的			
利用期間			
利用場所			
利用資料	資料名	数量	備考
許可条件			
備考			

様式第4号（第11条関係）

第 号

年 月 日

資料等受領書

様

檀原市教育委員会

教育長 印

あなたから歴史に憩う檀原市博物館へ寄贈された下記の資料等を受領しました。

品目	点数	期間	備考
その他			

歴史に憩う橿原市博物館 館報2 平成27年度

編集・発行 歴史に憩う橿原市博物館

2016（平成28）年8月31日